

KITAURA

Culture + Innovation

大いなる夢咲かせます。

「変化の未来」に挑戦します。

「大地の息吹」に価値を創造します。

「明日の世代」にふれあいを手わたします。

平成7年7月14日（金）発行 No.339

広報きたうら

茨城県行方郡北浦村



斉藤博文くん



吉田幸子さん



本澤亮二くん



吉田理絵さん

交通安全子ども自転車県大会3位入賞(小貫小学校) 関連記事13ページ

霞ヶ浦聖苑オープン

広域火葬場8月1日供用開始

2・3

北浦村の農業を体験

農業研究センター新規採用職員

4・5・6・7

社会を明るくする運動

保護司・厚生保護婦人会活動

8・9

北浦虹工房	緑とのつき合い	10
食改進黨験発表	石橋みささん・岡崎信子さん	11
生涯学習	健康づくり運動・スポーツ②	12
むらの話題	たばこ耕作奨励会	13
さわやか健康	骨粗しょう症ってなあに①	14
文芸きたうら	新刊図書紹介	15
おしらせ	カントゥス少女少女合唱団	16

広域火葬場 霞ヶ浦聖苑オープン

八月一日供用開始

完成間近な霞ヶ浦聖苑

鹿行地方広域市町村圏事務組合で建設を進めてきた火葬場「霞ヶ浦聖苑」がこのほど完成し、八月一日から供用が開始されます。玉造町手賀地内に建てられたこの施設には、火葬炉五基、告別室二室、待合室三室、霊安室一室、収骨室二室を備えた近代的な施設です。組合加入は鹿島郡（旭村、鉾田町、大洋村）行方郡（北浦村、麻生町、牛堀町、潮来町、玉造町）と出島村の九町村です。

■予約受付開始
平成七年八月一日（火）

■予約受付時間
午前八時三十分から午後五時

※霞ヶ浦聖苑を利用する際は、必ず霞ヶ浦聖苑に電話予約をしてください。

■利用方法
霞ヶ浦聖苑使用許可証の発行は、利用当日霞ヶ浦聖苑でおこないます。各町村役場で発行する火葬許可証と印鑑を持参してください。

■休苑日
一月一日、一月二日、一月三日、友引の日

※休苑日は、予約の受付はしません。



火葬棟エントランスホール



■施設の利用時間
午前八時三十分から午後五時まで

■その他
①宮型霊柩車の使用は禁止となります。
②当苑は、住民の利便を図るため売店を設置いたします。施設の衛生管理のため、飲食物の持ち込みは禁止となりますので売店をご利用ください。
③待合室の清掃は利用者が行い、ゴミはすべて持ち帰りとなります。



待合棟ロビー

施設の概要

- 構造
鉄筋コンクリート造り一部2階建
- 面積
敷地面積 13,139.08㎡
建物延床面積 2,451.55㎡
建築面積 2,845.88㎡
駐車場 1,146 ㎡（43台）
- 火葬炉
炉数及び系列 大型5基 1炉1系列
炉形式 直上再燃焼炉付車式火葬炉（前入れ出し方式）
点火方法 電気自動着火（ダイレクト着火）
炉運転方式 中央集中管理制御方式
使用燃料 白灯油
バーナー型式 低圧空気噴霧式チルチングオイルバーナー

- 施設内容
〔火葬棟〕
・告別ホール・告別室（2室）・炉前ホール・作業室・電気室・事務室・収骨前室・収骨室（2室）・霊安室他
〔待合棟〕
・待合ロビー・待合室（3室）・売店・会議室・化粧室他

利用料金

区分	種類	単位	使用料	
			圏域内住民	圏域外住民
火葬室	13歳以上	1体	8,000円	50,000円
	13歳未満	1体	4,000円	30,000円
	死胎 (妊娠4か月未満)	1胎	2,000円	30,000円
	身体の一部	1個	2,000円	30,000円
	改葬	1改葬	2,000円	30,000円
待合室	火葬	1室	5,000円	10,000円
	その他	1室	10,000円	
霊安室		1回 24時間以内	5,000円	20,000円

注1 圏域内住民とは、死亡者が火葬場を構成する町村のいずれかの住民基本台帳に登録され、又は外国人登録をされている者をいう。
注2 圏域外住民とは、注1以外の者をいう。

霞ヶ浦聖苑

電話 0299-55-2710

FAX 0299-55-2699

所在地 玉造町大字手賀4339-39

受付時間午前8時30分～午後5時

前向きなパワーを感じた

【北浦村に来た時】

- のんびりした農村。
- 多品目農家が多いので一年中忙しそう。
- 初めて聞いた地名なのでわからない。
- 村というからには家が少なく、畑や水田の多いところだと思った。
- 全く知らなかった。
- 湖畔ののどかな風景が広がる田園地帯だと思った。
- 典型的な農村。
- 地図で見たときは平らで広い耕地が広がっている所と思った。

【農業実地研修を体験して】

- 土地が肥沃である。
- 専業農家が多かった。
- 畑には色々な野菜が栽培されていて、これが、日本的な農村風景なのかと思った。
- 観光資源に乏しい。商工業も盛んでない。
- たばこの畑が多かった。
- 自然がまだ豊かに残っていると感じた。
- 起伏の多いところで農業をしている村。

- 忙しい時と暇な時の差が激しい。
- 自然環境のよい所で働くことができる反面、重労働や農業が健康に及ぼす影響が不安。
- 自然を相手にするから厳しい反面、自分の裁量でやっていける利点がある。
- 農閑期には長い休みが取れる。
- 専業農業として経営が成立するためには、多大な設備投資を要し、経営の安定も程遠い。
- 完全な自由競争であるので、才能一つで大儲けできる。
- 重労働で、休みも自由に取れず、しかも、収入も不安定。
- 学校の実習や聞いた話からは、とてもきつい仕事と思っていた。
- 自然環境が豊かで、仕事にやりがいがある。
- 収穫の喜びがある。
- きつくて後継者難であるが、最も重要な仕事。
- 自由でのんびりとしているという感じを受けるが、経営的に難しく安定していない。

- 思ったより企業的だ。
- 予想以上に忙しく、ハードだと思った。
- 人を雇ったり、内職を頼んだりして、従来の農業より商売の色が濃い。
- 休みがなかなか取れなくて大変だと思った。
- 穏やかな時の流れで暮らしていると思った。
- 農業以外の産業が異常なのではないかと思えるようになった。
- とても手間がかかり楽でないと思った。
- 毎日、どんな仕事をするか自由に決められる。
- 腰が痛くなる。
- 創意工夫により収益が上がり、他産業に引けを取らない。
- 商品をつくる会社というイメージが増した。

- 家族総出で働くので大変。
- 仕事と家族の場の区別がつけにくい。
- 現在の農業はなみなみならぬ苦境に立たされており、その中で農家は経営者としてまた、技術者として高い能力を求められていると聞いた。
- 農業なんかやりたくないけど、しょうがなく農業をやっている農家が多いのではないかと感じていた。
- 朝が早い。
- 家が広く家族の人数が多い。
- 雨が降ると休み。
- 家族だけでやっているので他人との交流がないと思った。
- 昔ながらの生活をしていて、電気製品などあまり入っていないと思った。

- 苦しいながらも頑張っている前向きなパワーを感じた。
- 家、庭が広々しているのはうらやましい。
- ここに住んでいるのだという愛着を強く感じた。
- 単に自分達のことを考えるのではなく、農業全体を考えている。
- 農家どうしの横のつながりを強く感じた。
- 仲間が多くいることが、農業を続けている原動力となっている。
- 朝はそんなに早くなかった。
- 創意工夫、試行錯誤を重ねており、先進的なイメージを持った。
- 農家の交流が広く、よく研究されている。



つくば市にある農林水産省農業研究センターでは、毎年、新規採用研究員の研修を六か月間行っております。そのひとつとして、北浦村農業振興センターとタイアップして、農業実地研修をおこないました。今年の研修生は九名で、五月二十二日から二十六日まで研修を行いました。役場での説明の後、各受入れ農家に行き、それぞれの農作業を手伝いました。研修生は、受入れ農家の方々に触れて北浦の農業を身をもって体験できた喜びや苦しみは、貴重な体験研修であったと思います。将来、わが国農業の発展を期待される研究者に成長されることを願います。

研修生を受け入れてくれた方々
方波見 康さん(生姜、きゅうり等)
小林 兼一さん(甘藷、豆類等)
塙 惣吉さん(馬鈴薯等)
塙 久作さん(甘藷、ゴボウ等)
吉田 正治さん(大葉)

北浦村はどんなところ

農業をどう思う

農家をどう思う

意気込みが伝わってきた 【原 昌隆】

農家での実習は三泊四日と短い間でしたが、農学部出身にもかかわらず農業を全く知らない私にとっては、とても貴重な体験となりました。

実際に農作業を体験して、思った以上に単純な作業が多くて大変なことを体で知りました。特にその幾つかは一人での作業が難しいことも多く、家族で仕事を行わなければならないことに気づきました。



■植物とか動物が大好き、農業は食料生産という根本的部分を担っている。

す。そのために今まで、農家に対して悲観的に感じていました。しかし、恵まれた環境のためか、北浦村の農家の方々にやる気が感じられました。農産物というよりむしろ良い商品を作って売るという意気込みが伝わってきました。そして、現場にある農家の方が仕事を、生半可な研究で満足し農家に相手にされなくなることをないように頑張らなくてはと思いました。

あと特記しておきたいのはおじいさんとおばあさんのいる生活についてです。高齢化社会といわれる今日、仕事を持たずに暇を持て余すお年寄りも多いと聞いています。それに対して、ここではお年寄りと呼ぶのも似合わないほど元気で、自分の仕事を持ち、周囲から頼りにされているようでした。自分が老いたときを考えると、できればこのお年寄りのようにありたいと思います。最後に、貴重な体験をさせて戴いた北浦村の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございます。

野菜作農家は収入の保証がない 【八百坂正則】

私と高田君は、埴郷吉さん宅に四日間ご厄介になり、もっぱらタマネギの収穫を手伝わせていただきました。実習前には、「圃場実習は農村実習の準備運動だ」などと脅かされてきたのですが、実際に来てみると、農家出身でも体育会出身でもない私でも楽にこなせるくらいの作業で、休憩は多いし食事は御馳走だし、二人合せて一人分の仕事しかできない私達が、こんなに親切にしてもらっているのだろうかと思っていました。



■自分の研究の成果が、目に見える形で現場に反映できたらいい。

野菜作農家は、収入の保証は全

くありません。でも、自分一人の裁量で何でも自由にでき、才覚一つで大成功も可能だという点、その対極にある私達公務員にはない大きなやり甲斐のある職業と言えるかもしれません。とは言え、タマネギ一キロが百円の収入だと聞き、そこまでの作業を思うと、パートで野菜の安売りを見ても素直に喜ばなくなりそうな気がします。

今後私は、もしかすると実験室で試験管と顕微鏡で仕事をする身になるかもしれません。そうなったとしても、農業に関連する省に籍を置く者として、農業の現場の一端に触れたこの農村実習の経験を、決して忘れないようにしたいと思います。

最後になりましたが、農村実習という得難い経験をする機会を与えて下さった北浦村役場、農業振興センターの方々と、四日間にわたって私達の面倒を見て下さった埴家の皆様に、心から御礼を申し上げます。

新しい農業の形態会社方式 【大西昌子】

■食べることは人間が生きていく上で欠かせないもの。それを支えてくれるのが農業だ。



新しい農業の形態として、有機農法や、会社方式での経営について、話を聞く機会は、これまでに何度もありました。しかし、今回の研修で、これらのことについて、現場で勉強させていただき、話で聞いただけの時とは、違う印象を受けました。

企業経営についてですが、初めて耳にした時は、大変抵抗を感じたのを覚えています。植物を工業製品のように、定時定量生産するのは、無機的で、人にとっても作物にとっても無理があると考えました。それに、やはり家族が協力して収益を上げるのが、農業経営のあり方だと思い込んでいました。企業経営（農業以外の）一般

の会社経営、と考えたところに、私の間違いがあったようです。やはり、工業製品と違い、季節によって生産できる量も違いますし、休みもあります。また、パートの方がいらしたり、内職を頼まれていると言っても、家族の方々が総出で作業されていました。企業経営と一口に言っても、農業には農業に合った経営の方法があり、それなりの利点や苦勞もあることを勉強させていただきました。

このようなことは、実地研修であったからこそ、分かったことだと思います。

有機農法についても、理想的だけど、農業や化学肥料が組み込まれた現代の農業体系が出来上がっている中では、難しいのではないかと感じていました。しかし、実際に、有機栽培が成立しているのを見させていただき、消費者の立場としても大変嬉しく思いました。その他、本当に多くのことを学ばせていただき、よい経験になりました。吉田正治さんのご家族やパートの方々、そのほかお世話になりました皆様に、心より御礼申し上げます。

多くの作業を個人で管理 【帖佐 直】

■農業がいかに重要な産業であることを主張していきたい。



無理な姿勢を長時間続けなければならぬ作業が多いという印象をうけました。また、それ以外にもマルチ張り、農薬散布、機械の整備、ハウスのビニール張り等、わずかな期間に数多くのことをやらせていただき、非常に貴重な体験ができたと思っています。同時にあれだけ多くの作業を個人で管理していくのは大変だろうなとも思いました。

農業にかかわりのある仕事に就きながら、実際の農村や農家の様子は知らないことがまだまだたくさんあり、勉強しなければならぬことが数多くあると思いますが、わずかながらも北浦村での農業体験を誇りにして、この先頑張っていきたいと思っています。

実際の作業は、甘しよの苗採り、植え付け、いんげん豆の収穫等、決して重労働ではないけれども



犯罪のない

明るい社会を築く

社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」は、すべての国民が、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力をあわせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

重点目標

少年の非行防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める。

わが国の少年非行は、量的には減少傾向にありますが、交通関係を除く刑法犯検挙では、そのほぼ半数と高い比率を占めています。

その内容をみると、経済的に不自由のない普通の家庭の少年による「遊び」を動機とする軽微な窃盗、横領の比率が高いと同時に、大麻のような本格的な薬物に手を出す事例が増加し、また、「いじめによる自殺事件」など重大な結

果につながる悪質な恐喝、暴力行為等の事件が発生するなど、少年非行は依然として懸念される状況にあります。

こうした状況の背景としては、地域社会における人間関係の希薄化や、家庭における育成機能の低下など少年を取り巻く環境の悪化が考えられます。

これらに対処するためには、地域住民の理解と参加のもとに、少年期に最も影響力をもつ家庭、学校、職場及び地域社会が一体となって、社会的ルールづくりや犯罪を誘発しない健全な環境づくりを行うとともに、少年の徳性のかん養と非行に陥った少年の更生をはかるための、地域に根ざした幅広い活動を展開していく必要があります。

そこで、この目的を達成するため、重点目標を前回に引き続き「少年の非行化防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める」とします。

少年非行の現状

警察庁がまとめた平成六年の統計によると、昨年の刑法犯少年は一三二、二六八人で刑法犯検挙人員の四二、六％を占めています。

また、非行の中心となっているのは一四歳から一六歳までの少年となっています。特に、一四歳と一五歳の低年齢層の少年がそれら刑法犯の四二、一％を占めており、これらの少年の多くは経済的に不自由のない、ごく普通の家庭に育っているのです。

深刻ないじめ問題

■いじめによる補導人員の推移



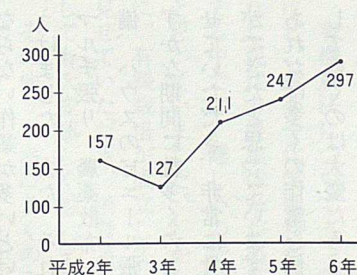
(警察庁の統計をもとに作成)

現在、いじめに起因する事件が大きな社会問題になっています。

昨年、こうした事件で補導された少年は三七二人で、前年に比べ一三八人(五九％)増加しており、その大半は中学生です。被害者が「力が弱い、無抵抗」または「いい子ぶる、生意気」だからといったことが動機となっています。

大麻乱用少年が増加

■大麻乱用少年の補導人員数の推移



(警察庁の統計をもとに作成)

平成四年頃から急増傾向にある大麻事犯では、特に中、高校生の補導が大幅に増加し、平成六年は高校生の割合が全体の約二二％を占めています。大麻が急速に一般

社会を明るくする運動

の少年の間で蔓延しつつあることが懸念されています。

「遊び」を動機とする犯罪

万引き、オートバイ盗、自転車盗等(初発型非行)については罪の意識が低く、「軽い気持ち」や「遊び」気分で行われているのが特徴で、刑法犯少年全体の七二％を占めています。

初発型非行の背景の要因として自転車の路上放置、店員の目が届かない大型店舗の進出など少年をめぐる社会環境の変化や、価値観の多様化が指摘されています。

また、これらは本格的な非行の入口となることが多いと言えます。

凶悪非行(強盗)が増加

凶悪犯による補導人員は一、三八二人で、前年に比べて約二〇％増加しています。

犯罪別では強盗、放火、強姦、恐喝、脅迫等が増加、特に強盗犯が約二八％と大幅に増加しています。

内容的にも非行グループによるリンチ殺人や強盗、恐喝の多発など、少年非行の凶悪化が懸念されています。

地域住民の理解と参加を

このように、少年非行の動向は現在も憂慮すべき状況にあり、社

会的にも大きな問題となっており、非行の背景には家庭環境や交遊関係、社会環境など多くの要因が複雑に絡み合っています。次代を担う少年のために、実施要綱にもあるように、家庭や学校、あるいは地域社会が協力しあって、犯罪や非行が発生しないような社会環境をつくる必要があります。

「社会を明るくする運動」は、保護観察所、保護司、更生保護婦人会などが中心に、地域の人たちと一体となって推進をしています。これらの問題に対処していくため、青少年問題協議会やミニ集会など地域に根ざした幅広い活動を展開しながら、地域の人たちの理解と参加を得て少年の非行化防止や、健全な社会環境づくりが特に大切となります。

ミニ集会に参加を

保護司、更生保護婦人会のメンバーが中心となって、公民館、集会所、観音講、保護司宅等でミニ集会(井戸端会議的に)を行い、特に思春期の子供を持つお母さん方(お父さんも)の参加を得て、肩の凝らないような話し合いをしています。

募金活動にご協力を

今年も社会を明るくする運動月間に入りました。私たちは会の活動の一貫として不幸にして非行に陥った青少年のために、一日も早く本来の健全な姿に回復してもらいたいという願いをこめて募金活動をしています。

毎年、皆さんにご協力をいただいているところですが、昨年は北浦村集計で23万9千500円に達しました。このお金は各施設や保護観察中の青少年達に良書や機材等を寄贈しております。

厚生保護婦人会の会員が皆さんのお宅にお伺いたしますので、会の活動をご理解いただきますとともに、ご協力をお願いいたします。

—— 厚生保護婦人会 ——

ミニ集会でのテーマについて

- 肩のこらない話題を提供しましょう。
- 参加する人に共通する、身近で具体的な話題
- タイムリーな話題

主なテーマは…

- 小、中学校におけるいじめについて
- 万引き、乗り物盗について
- 学校週5日制と子供の生活について
- 非行の低年齢化について
- シンナー、覚せい剤の恐ろしさについて
- 家庭における親の役割について



呼び掛け(通常口コミ)があった際は是非参加をお願いします。

保護司

伊藤正孝さん (次木)
茂木久子さん (繁昌)
児玉昭典さん (内宿)
高野 顕さん (小幡)

更生保護婦人会

斉藤きよさん (内宿)
茂木久子さん (繁昌)
高橋正代さん (両宿)
藤咲八枝子さん (小幡)
鳥次美恵子さん (三和)
店曲みねさん (次木)
高柳黎子さん (山田)
高橋豊子さん (繁昌)
小沼美代さん (吉川)
松下久子さん (南岡)
東野サカエさん (長江)
石橋みささん (繁昌)

7月は社会を明るくする運動強調月間



⑧ 緑とのつき合い (1)

先日NHKのテレビ番組で、東京の緑についての特集番組をやっていた。番組によると、現在都内(二十三区)の意味だと思ふが)には、公園や街路樹、各戸の庭木などを含めて、一億三千万本の樹木が植えられているという。そして二十一世紀までにそれを二億本に、ほぼ倍増する計画が進められているそうだ。そのために今、北は北海道から南は鹿児島まで(さすが沖縄の木は東京の気候に合わないらしい)の全国各地から様々な種類の樹木が集められ、都内の各地に移植されている映像を番組は流していた。

■つくられ整えられた森
今月からはこうした番組からの情報も引用させていただきながら、緑とのつき合いについて考えてみたいと思う。

東京都の新知事の決断で世界都市博は中止となったが、臨海副都心計画は現在も開発が進められている。その開発の一

つの目玉が「緑」である。森の中にある街、緑に囲まれた住居や会社、それが臨海副都心の売り物になるということだ。

東京の神宮の森に行ったことがあるかたもいらっしやるだろう。私は都内に事務所をもちながら、神宮には外苑にしか行ったことがない。本苑のある内苑は周辺を歩いたぐらいである。それはともかく、あの神宮の森は、昔からあったものだとはかり思っていた。実はそうではなく、ほとんど樹木らしいものがなかったところに、一九二〇年代に植樹がなされた結果であるという。それも百年先の森の形を想定して、実に計画的に植樹されている。

鹿で有名な奈良公園、修学旅行で一度行ったきりだが、ずいぶん広い自然公園のように記憶している。ここもあるがままの自然ではなく、時の為政者の政策によって植樹されたものだということ。

神宮の森にしても、奈良公園にしてもあるがままの自然ではなく、人の手によって整えられた自然であることは共通している。そして現在も豊かで美しい緑を保ち得ていることから、相当にきめ細やかな管理が続けられているであろうことがわかる。神宮の森は七十年にわたって、そして奈良公園はおそらく数百年にわたって管理がなされてきたのである。臨海副都心ではそれがこれから始まるようになっている。これは管理というより、手入れと表現したほうがふさわしいかもしれない。管理というと、自然を支配するよう

な感じがする。緑とのつき合いでは、やはり手入れである。

■心の糧としての緑

日本は全国的に見ると世界でも緑の多い、緑に覆われた国である。しかしそのほとんどが人の手によって植えられた緑である。街中ばかりではなく、山も里もしかりである。自然のままの原生林は一部にしか残っていないと聞く、古来より人は木を生活や産業の糧として切り出し、そしてまた新しい苗木を植え続けてきた。今ある緑はそのお陰である。しかし近年生活や産業の糧としての木の意味は薄れてきた。だから人が森に入ることも少なくなってきた。そして今ある森を昔からあった自然の一部のように錯覚してしまう。たしかに生活や産業の糧としての意味は薄れてきたかもしれないが、心(精神)の糧としての意味は永久に不変なはずである。とくに現代というより今、永遠に成長を続けるものと信じ、精神の拠り所として求めてきた経済の仕組みが壊れつつある今、心の糧としての緑の意味はますます大きい。

■自然に協力を願う

自然とつき合うということは、前号の「村定公園」でも話したが、それは自然の中に、緑の中に入っていくことだと思ふ。緑は座して待っても向こうからやってきてくれるわけではない。そして緑の中に人の居場所をつくるためには、やむ

をえない程度に木を切ったり、虫の駆除を行うことも許されると思ふ。自然を擬人化し、一本の草にも木にも手をかけさせまいとする考え方もある。それで自然との連帯感をもったつもりかもしれないが、それは自然とのつき合いを放棄しているにすぎないように思ふ。地球環境全体からすれば、人が開発という名で自然林に立ち入らない方がよいということもいえる。しかし人間の生活の場との接点にある自然には、人間の方からお願いで生活の基盤づくりや、心豊かな人生をおくるための協力を求めることが必要だと思ふ。山の植林による貯水ダム効果もある。先の阪神淡路大震災では、緑の多い公園の周辺家屋では焼焼をまぬがれたという事実もある。緑の価値は挙げればきりが無い。やすらかな気持ちになれるのも緑の中にとどまるときだ。そのためには自然に、美しく整えさせてほしいとお願いをしたい。

自然を支配するという驕りではなく、協力を願うということ。これが自然とのつき合いの第一歩だと思ふ。

北浦村での緑のつき合いについても書きましたが、紙面が尽きました。次号で触れたいと思ひます。



食改進体験発表

2

食生活に気をつけ健康でいたい



石橋 みさこさん
(繁 昌)

話などを受けた時、その内容を全部おぼえて帰らなければいけないと思ひ、メモなどを一生懸命とらうと思ふと、話しはどんどん先に進んでしまい、学生時代あまり勉強の好きでなかった私にとって、とてもつらい事でした。

でもある時、考えが変わりました。どうせ私の頭では全部おぼえるのは無理なのだから、全部わすれてしまふのはもったいない。一回出席するたびにひとつかふたつだけ印象にのこったことをおぼえて帰ればよいと思うようになり、いろいろな所へ出かけて行って大勢の人と会ったり、話しを聞くことがとても楽しくなりました。それには、一回でも多く参加させてもらわなくてはなりませんので、さそいがあつた時は、できるだけ参加するようにしてきました。

三年前、役員ということで、いろいろな行事に参加させていただく機会が多くなりましたが、最初は行事に参加することがとても苦痛でした。というのは、講義、講

塩食料理などを作り、大勢の人に試食してもらいました。その時試食した人達から「おいしいけど、ちよつと味がうすくて、これじゃご飯は食べられない。これが体にいいんだろうけど」とか、「こんな薄味で料理しても文句を言つて食べてくれない」とか、「これだけ沢山の材料を入れればみそ汁だつてうまい」などという言葉が耳にはいつてきました。

どこの家庭でも台所のすみ、冷蔵庫の中に使いきれなかった物がつめこまれたままになってしまふことがあると思ひます。私は週一回冷蔵庫の中の物を全部出してしまい、少しずつ残っているものをみんな入れて、実だくさんの汁や野菜イタメなどを作ることにしています。

私が食改進に入つて勉強を始める前のある日、姪が赤ちゃんにおしゃぶりの代わりに、人参、きゅうり、セロリーなどの野菜のスティックを持たせていたので、どうしたのか聞いてみると、「歯がためにはこれが一番いいのよ」といつてつづけていました。結果はすぐでできました。物を食べるようになった子供は、生野菜の大好きな子供に育つていったのです。その後、甥、姪の子供たちは、みんな

野菜のスティックを持ち野菜の大好きな子供に育つたのです。

大人になってから努力しても、食べ物の好き嫌いはなかなかおひりません。小さい頃の母親の責任は重大なものだという事をしみじみ感じました。自分で子供を育てる時には、なかなか気がつかなかった事も、今になって「あの時、あんなふうにしていれば」と思ふ



岡崎 信子さん
(小 幡)

いろいろな活動を積極的に

先日、旭村公民館で行われた鈴木田保健所管内食生活改善推進員研修会に参加しました。この研修会には講演会と実技があり、講演会では、シオン短期大学講師の佐藤淑子先生を招いて「心を開く話し方、聞き方」という題での話しを聞きました。

その中での話しで、誰とでも心を開いて話しができること。人との出会いをいつも大切にすること。表現力を出すこと。言葉の繰り返しのすること。このような話し方

により、人の心にもこのこり心もおだやかになれると私なりに感じました。

その後は、「楽しく歩いて健康づくり」の実技でした。私と同じ食改進を玉造町でやっている井野場ヒサ子さんがインストラクターとして教えて下さいました。歌詞曲をフォークダンス調で歩きながら曲に合わせて踊りました。

私は日ごろ体を動かすことが少なく、どこへ行くのも車を使い、歩く事が少なくなりました。体は足腰から悪くなるのですから、毎日すこしづつ動かすこと、歩くことが大切です。何かしら趣味を持つと良いです。

食生活改善推進員のひとりとしていろいろな活動に協力して広めていきたいと思ひます。



「快楽の共有」を原点とする健康づくり運動・スポーツ②

21世紀の老後を考える会会長
日本温水プール浴協会会長
医学博士 後藤重彌

種目としては、筋肉や心肺機能の衰えをできるだけ遅くするための「負担の少ない全身運動で、誰にでも週一回くらい気軽にでき、面白くて長続きするもの」が最適。人間は、幾つになっても、向上心・競争心を失わず、それが活力を生み出すので、運動・スポーツにも「競争心や目標達成感が必要である」という見方があります。それも真理ですが、健康づくりを目指す運動・スポーツにあつては、勝敗や記録にこだわらず、仲間と一緒に楽しみながら、お互いが快

い気分になれるという「快楽の共有」を原点とすべきであると思ふ。この「快（こころよい）」と楽（たのしい）を実感できるには、参加する各々が、自分の殻に閉じ籠らないことです。その運動・スポーツを通して、「柔軟な心とわれない心」の発揮されることが望まれます。つまり、「裸の心」になることです。

私は、高齢期の人々がこの「裸の心」になれる健康づくり運動として「温水プール浴」を提唱しております。

温水プール浴は、「水温」「水压」「浮力」「抵抗」「マッサージ」など、五つの特性を効果的に活かした運動処方です。

その効果は、生理的側面にプラス作用をもたらすことは当然ですが、とくに強調したいのは、「心理的解放感」「仲間づくりの促進」などが顕著に示されることです。

それは、「生まれた時の裸に近い姿で、温水の中に浸って身体を動かすことの快適さ」が、人々の心の奥にある「童心」を呼び起こすことと密接な関係があると思います。

これからの生涯スポーツとして「温水プール浴」がいつそう注目されることを期待しています。

（社会教育五月号より）

学習予定

- | | |
|---------|---------------------------|
| 7/ 9(日) | 環境・科学教室 |
| 12(水) | ゲートボール大会 |
| 14(金) | 生け花講座 |
| 16(日) | 第11回村民スポーツ大会
(クロッケー) |
| 22(土) | チャレKITA (演劇)
水泳教室 ~28日 |
| 23(日) | アートフラワー講座 |
| 26(月) | 空手道大会 |
| 8/ 3(木) | ハンガリー少年少女合唱団公演
手話講習会 |
| 4(金) | 夏休みお話し会 |
| 5(土) | 小学生相撲大会 |
| 6(日) | 組紐同好会 |
| 10(木) | 手話講習会 |
| 11(金) | 生け花講座 |
| 12(土) | チャレKITA (演劇) |
| 16(水) | 第3回親子ふれあいの船~22日 |
| 17(木) | 手話講習会 |
| 18(金) | 夏休みお話し会 |
| 20(日) | 組紐同好会 |

第1回ふれあいの郷セミナー

(高齢者短期大学)

「高齢者短期大学」から「ふれあいの郷セミナー」と名称を変え第1回目の授業が過日スタートした。

「高齢者の生きがいある生活をおくるため」「それぞれの個性、能力を生かし」「多彩な能力を社会的に生かすため」「新しい知識と教養を身につける」趣旨のもと、39名の生徒が在籍する。

今回は、慈母観音の御住職山本明胤先生の講話「私達のなすべきこと」であった。

33名の出席者は、それぞれ熱心に耳を傾け、新たな「生きがい」をみつけた様子で公民館を後にした。

入校希望者は、公民館(5-3777)まで。



優秀賞

方波見重雄さん
井川貞夫さん
石橋せつさん
島田静夫さん
宮内省三さん

最終日、出品者は来年の競技花「華宝」を手に家路に着いた。

「さつき」は水やり、剪定、そして針金かけと大変な手数がかかる。ましてや競技花を仕上げるためには、正に我が子を育てるに等しい労力が必要とする。

さながら、中央公民館エントランスホールは、その期間中この世の花園と化したのである。

御存知のように、「さつき」は大変な手数がかかる。ましてや競技花を仕上げるためには、正に我が子を育てるに等しい労力が必要とする。

最終日、出品者は来年の競技花「華宝」を手に家路に着いた。

第18回

さつき展

6/7~12

むらの話題



たばこ耕作奨励会

北浦村たばこ耕作振興協議会並びに同奨励会が6月9日に役場大会議室で行われました。奨励会では、平成6年度の成績の良かった総代区や個人に賞が贈られました。受賞者はつぎのとおりです。

- 団体の部
- 北浦村たばこ耕作奨励会長賞 小幡東 総代区
 - 茨城県たばこ耕作組合長賞 山田 総代区
 - 鉾田原料事務所長賞 稲平 総代区
- 個人の部
- 茨城県たばこ耕作組合長賞 掛田貞雄さん(六十塚)
 - 鉾田原料事務所長賞 石橋 明さん(小幡東)
 - 村長賞 椎木知司さん(南高岡)
 - 議長賞 日下 誠さん(小幡東)
- 立毛品評会
- 掛田勝吉さん(六十塚) 金井勝之さん(依田谷)
 - 石間信一さん(繁昌) 稲田富雄さん(香取)
 - 宮内 淳さん(小幡) ※()は総代区名

北浦写真同好会より 二科茨城支部展に入選

第34回二科茨城支部展(写真の部)に北浦写真同好会より10名が出品し、10名全員が入賞又は入選されました。展覧会は7月15日から20日まで、県文化センターで開催されます。入選者は次のとおりです。

- 入賞 児玉昭典さん
- 入選 寺内泰夫さん、宮本徳次さん、石橋せつさん、鈴木やいさん、斉藤照義さん、岡部忠男さん、六笠マサさん、東山博さん、高柳貞さん

【スポーツ大会の結果】

- ママさんバレーボール大会(6/11)
優勝 北浦中ゆうやけ 準優勝 三和小PTA
第3位 津澄フェニックス・武田小PTA
- お父さんソフトボール大会(6/11)
優勝 要小PTA(B) 準優勝 北浦中PTA(A)
第3位 三和小PTA・要小PTA(A)
- スポーツ少年団交流大会
サッカーの部 優勝 津澄サッカースポーツ少年団
ミニバスの部 優勝 津澄ミニバススポーツ少年団



交通安全子ども自転車大会県大会 小貫小が3位に入賞

第32回交通安全子ども自転車茨城県大会が7月5日水戸市民体育館で行われました。1チーム4人で行われるこの大会は、交通規則や道路標識、自転車の安全な乗り方などの学科テストと安全走行や技能走行などの実技テストで争われました。小貫小は6月13日に行われた麻生地区大会で優勝してこの県大会にのぞみました。大会には、交通安全協会や交通安全母の会、小貫小PTAなど大勢の方が駆けつけ、選手もおおはりきりでした。

最初に学科テスト、その後実技テストが行われました。技能走行では10mを24秒間かけてゆっくり走行したり、ピン9本の間(幅110cm)を走行するなど大変難しいテストでした。しかしながら4人とも無難にこなし、見事団体で昨年に引き続き3位に入賞しました。また、個人では、斉藤博文くんが5位に入賞する健闘をしました。



要小PTA(B)チーム



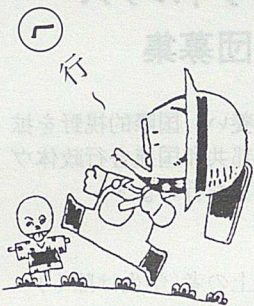
北浦中ゆうやけチーム

いっぱい
あつぺえ

むらの方言ベスト

いつつ

- 障子紙を『へがす』。
訳 はがす
- 柱にぶつけて車のドアが『へっこんだ』。
訳 くぼんだ
- 『へつまんねえ』話しをする。
訳 つまらない
- それは『へでえなし』だな。
訳 でたらめ
- 俺を『へるちゃくするな』。
訳 探しまわるな



新刊図書

中央公民館図書室 (5/20～6/18)

■一般図書 全104冊

・四十きよろきよろ〔出久根達郎〕・怪しい隣人〔小池真理子〕・一千日の嵐〔沢地久枝〕・男の美学〔佐高信〕・女の民法〔大野菜穂美〕・黒い潮〔津村節子〕・終戦五十年の秘話〔磯村英一〕・水脈〔高樹のぶ子〕・太陽の馬(上下)〔落合信彦〕・とんぼ〔伊集院静〕・虹物語〔志水辰夫〕・日の影絵〔大谷典麻呂〕・白球残映〔赤瀬川隼〕・百面相〔滝沢美恵子〕・室町花伝〔安部竜太郎〕

■児童図書 全45冊

・うそつき咲っぺ・王さままほうが大すき・こだぬきくんは1ねんせい・すぐに役だつ保健シリーズ(全10巻)・日本一のいじわるじきさん・はじめての草あそび(全7巻)

■絵本 全28冊

・イルカのがみ・おばけのおひっこし・さんびきのくま・にわとりとたまご・るすばん・わかがえりのみず

■CD 全3枚

・The Vest of ORIGINAL LOVE〔ORIGINAL LOVE〕・PIECE OF MY SOUL〔WANDS〕・DECADE〔米米クラブ〕※公民館図書室ではCDの貸出を始めました。

きたうら 根本かほる選

六月のみにくじをぬらす高野楨大鳥居注連重たけに走梅雨旅すでにひと日の歴史夏に入る山の家軒高くしてほととぎす同性の家立ち並ぶ柿若葉さからわす腰までつかり鮎釣りぬ柿若葉里美の郷の良き集会たうたうと声呑みこんで清い滝万緑を眠らせ雨の静の宮昼時の老鶯を聞く隠れ里梅雨近し音に音添ふ四度の滝神杉のしめ縄たるみ五月るる谷間かと思えば田あり五月るる走り梅雨人のこみ合う滝見茶屋どくだみの一群もおく静神社里美宿山容すでに夏兆す
◎雨煙る一日県北方面へ日帰り吟行に行つて来ました。

さわやか健康

健康はしあわせ家族の命綱

各種健診・相談等スケジュール

事業名	月日	受付時間	場所	対象
育児相談	7月17日	PM1:30～2:30	母子健康センター	乳幼児
一般健康相談	28日	PM1:30～2:30	〃	一般
胃・大腸検診結果説明	27日	PM1:30～2:00	役場大会議室	要精検者
養成講習	8月4日	AM9:00～9:30	中央公民館	食改進
2歳児歯科健診	8日	PM1:00～1:30	母子健康センター	H5.4.27～8.8生れ
育児相談	21日	PM1:30～2:30	〃	乳幼児

※7月17日(月)～8月1日(火)の10日間、各地区の集会所で結核、肺がん、成人病検診を実施します。詳細については健康カレンダー、チラシ等をご覧ください。



骨粗しょう症ってなあに ①

〇骨がもろくなる病気をとると腰が曲がりたり、背中が丸くなったりすることがよくありますが、これまではすべて年のせい、それほど不思議なこととも思っていないませんでした。

ところが、最近になってこれは「骨粗しょう症」という病気であることがわかってきたのです。

では、「骨粗しょう症」とはいったいどんな病気なのでしょう。

「骨粗しょう症」の「粗」とは「あらひ」という意味で、「しょう(鬆)」というの

は「ス」がはいるという意味です。この文字が示すように、わたしたちのからだを支える骨の量が減って、スがとおったようにスカスカになる病気のことを骨粗しょう症といいます。

〇増える骨粗しょう症

現在、日本で骨粗しょう症にかかっていると思われる人が五五〇万人位いると推計されていますが、人口の高齢化とともにさらに増えていくものと思われています。

骨粗しょう症は、圧倒的に女性に多いのが特徴です。これは、閉経期を境に骨をつくるうえで大切な役目をしている女性ホルモンが失われ、骨の量が急に少なくなってしまうためです。

特に、若いときからのカルシウム不足や運動不足の生活をしている人は、閉経期を境に骨粗しょう症になりやすいと言えるでしょう。

〇寝たきりになりやすい大腿骨の骨折
骨の量が減ってスカスカになると、わたしたちのからだを支えている背骨(脊椎)をはじめとして骨が大変もろくなって折れやすくなったり、つぶれやすくなります。その結果、からだにはいろいろな症状が

きたうらの味 ツナとさやいんげんのサラダ

青く色よくゆでたさやいんげんと、ツナとさらし玉ねぎをドレッシングで和えたサラダ。
レモン味のドレッシングがツナとよく合います。

材料(4人分)

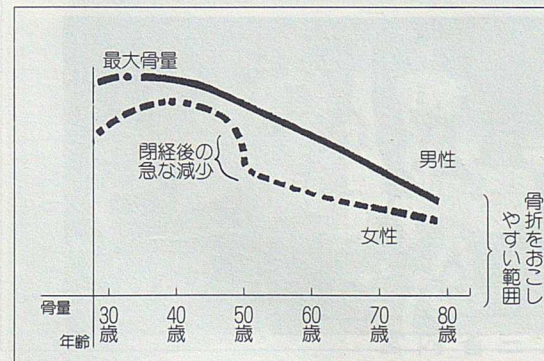
- ツナ缶 160g
- 玉ねぎ 80g
- さやいんげん 200g
- マヨネーズ 少々
- レモン汁 12g
- トマト 2個

【作り方】

- ①ツナは缶から出してほぐす。
- ②玉ねぎは縦2つに切り根をとってせん切りにし、塩を振りもむ。水で洗ってふきんに入れ絞る。
- ③さやいんげんは筋をとり、5～6cmの長さに切り塩ゆでし、水気をよく切る。
- ④トマトは縦半分にし、薄切りにする。
- ⑤マヨネーズにレモン汁を加え混ぜる。
- ⑥①②を合わせ、⑤を加えて和える。
- ⑦器にトマトを敷いて、さやいんげんをのせ更に⑥をのせる。

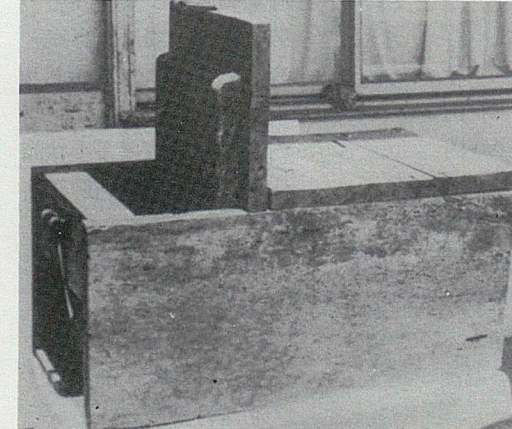
☆1人分栄養量
エネルギー 232Kcal
たんぱく質 11.4g
カルシウム 37mg
塩 分 0.8g

■加齢による骨量の変化



米びつ

米を入れた米びつは、大正の初期までは、たいていの農家が使っていた。米びつは松、杉、桧材で作られ、厚味も1.5cm内外の板で頑丈に作られてあった。米と麦と2個用意した家や、



あるいは大きな米びつの中を仕切って麦と米を別々に入れたものもあった。現在では米が自動的に必要だけ出せる便利な「計量米びつ」が使われるようになったので、昔のように杓で米や麦を計って釜に入れるような手間が省け、便利な世の中になった。しかし1部の農家では今でも昔の米びつを使用しているのを見かける。家具には1年中毎日のように使われているものと、使用期間が一時的なものもあるが、米食の日本人にとっては、毎日お目にかかった必須のものであった。そして米びつの底が見えることは、飯米が残り少なくなったことであり、家計事情と結びつき極めて淋しいことであった。殊に戦時中の台所をあづかった主婦達は、毎日米びつの残量に注意し、次の配給日までどう持ちこたえるか、苦心にあけくれた経験が忘れられない思い出であろう。

村で使われた昔の民具

生活様式の近代化に伴い、先祖伝来の古い民具が廃棄されています。先祖が厳しい生活条件の中で苦心して作り上げた民具を保存したいものです。

ドイツ連邦共和国 連合行政体ヴィルゲス

平成7年度(第4次)派遣団募集

北浦国際交流協会および北浦村では、国際感覚を養い、国際的視野を拡大する意味からも北浦村と友好関係にあるドイツ連邦共和国連合行政体ヴィルゲスへの研修と交流を目的とした派遣団員の募集を行います。

- 募集人数 7名程度
- 応募資格 北浦村に在住もしくは勤務する20歳以上の者(学生は除く)
- 日 程 平成7年11月中旬～下旬出発の7日間(日程は現在調整中)
- 参加費用 個人負担10万円程度 その他は北浦国際交流協会が補助します。
- 応募方法 参加希望者は平成7年8月31日(木)までに、北浦村役場企画課に備え付けの応募用紙に、研修希望内容を記入し申し込んでください。
- そ の 他 詳しくは北浦村役場企画課(☎5-2111 内線256)まで。

共済年金担保融資のご案内

国民金融公庫では、共済年金を受けていらっしゃる方を対象に年金を担保とする融資を取り扱っています。ご融資金額は250万円以内(ただし、受給年額の3年分以内)で、住宅、教育、レジャーなどの資金や事業資金に幅広くご利用いただけます。返済方法は、年金の支給金を公庫が受け取り返済金にあてます。

詳しくは、国民金融公庫土浦支店(☎0298-22-4141 恩給係)にお問い合わせください。

茨城県調理師試験及び調理師
試験予備講習会のお知らせ

茨城県調理師試験を下記により実施します。銚田地方調理師会では、受験願書の記入指導及び試験の予備講習会を開催します。

- 試験日 平成7年8月23日(水)
 - 試験場 茨城大学教養部
(水戸市文京2-1-1)
 - 受験資格 2年以上の実務経験等
 - 願書記入指導 7月20日(木)から7月25日(火)まで
 - ◎必要な書類
 - ①最終学校の卒業証明書又は卒業証書の写し。
 - ②戸籍抄本
 - ③写真(たて5cm、よこ4cm、上半身正面向)
 - 予備講習会 8月1日(火)から8月3日(木)まで
 - 問い合わせ先 銚田地方調理師会
(ますや本店 ☎3-3048)
- ※取り寄せるに時間を要する書類がありますので、受験を希望する方は、連絡を早めをお願いします。

参議院議員通常選挙

●投票日
7月23日(日)

●投票時間
午前7時～午後6時

ハンガリー民族音楽の夕べ!

ハンガリーカントゥス

少年少女合唱団が北浦村へ

ハンガリーで最も長い歴史を持ったこの合唱団は、1793年に設立された。初めは聖歌隊として男声合唱団としてスタートしたが、1954年以降少年少女合唱団として活躍、現在団員数も総勢150名にのぼる。

1967年より指揮者を務めるベルケシ・サンドール(リスト音楽院卒業)に率いられ、ドイツ、オーストリア、イギリス、フランス、スイス、オランダ、フィンランド、そしてアメリカなどへツアーを行い、その高い音楽性は各地で絶賛されている。中でも、1982年バルトク国際合唱コンクールでの優勝は、この合唱団を一躍有名なものにした。

レパートリーは聖歌から現代物までと幅広いが、特に自国の大作曲家ゾルターン・コダーイの演奏についてはハンガリー随一とされている。

今回、待望の初来日。北浦村での公演。

また、今回の来日公演では『現代の吟遊詩人キーシュ・タマーシュ』が特別ゲストとして参加する。タマーシュによるハンガリー民族音楽の神髄また合唱団との競演は、これまでの少年少女合唱団の演奏会とは一味違った、民族色豊かな公演が展開される。

- 公演日時 8月3日(木)
- 場 所 北浦村文化会館
- 開 場 午後6時30分
- 開 演 午後7時
- 入 場 料 大 人 2,000円
小中学生 1,000円
- 主 催 きたうら村546 こんさあーと
- 後 援 北浦村・北浦村教育委員会・
北浦村商工会・北浦村文化協会・
北浦村鉄頭会議・北浦国際交流協会・
北浦ふるさと塾・北浦少年少女合唱団

- チケット取扱い所
岡里商店・額賀宏商店・
勢司商会・関川美容室・
音楽工房「ログ」・ドラックMA・
掛田商店・宮内商店・
新滝屋・小林商店・
菊川商店・高柳商店
- 問い合わせ先
◎譜 久 島 肇
北浦村山田2048-2
☎5-2462
◎関 川 愛 子
北浦村繁昌326
☎5-2098